

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

ぼくのいえの犬は、コロという名まえです。まい日、夕がた、ぼくがさんぽにつれていきます。

ある日、コロは、いつもの川のみちで、きゆうにとまりました。いくらひもをひっぱっても、うごきません。

「コロ、はやく。」

ぼくは、すしおこっていいました。コロは、草のほうへはなをむけて、くんくんないています。

そっとのぞいてみると、草の中に、小さな子ねこがいました。ぶるぶるふるえています。

ぼくは、子ねこをだいて、いえにかえりました。おかあさんが、あたたかいミルクをあげてくれました。

「コロが見つけたんだよ。」

ぼくがいうと、コロは、しっぽを大きくふりました。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) 草の中に、なにがいましたか。ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

(二) 「コロ、はやく。」といったとき、ぼくは、どんなきもちでしたか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア とてもうれしかった。

イ ねむかった。

ウ すしおこっていた。

--

(三) 子ねこは、どんなようすでしたか。ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

(四) コロが、なかなかうごかなかったのは、どうしてですか。二十字までで、かきましょう。
